

宇宙開発のこれからと日本

7.21 (金) 14:30~16:35 場所：京都大学芝蘭会館

NASAアジア代表Garvey氏



世界最初の宇宙旅行者100人に選ばれた稲波氏

開会挨拶 山敷庸亮 (大学院総合生存学館教授・SIC有人宇宙学研究センター長)

1. The U.S. - Japan Relationship in Space : The Most Important in the World Today (45分)

登壇者：Garvey McIntosh (NASA アジア代表)

2. 民間による宇宙旅行と宇宙ビジネス (45分)

登壇者：稲波紀明 (INAMI Space Laboratory代表)

3. ディスカッション (20分)

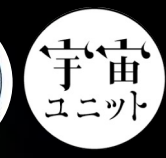
閉会挨拶 鶴 剛 (京都大学大学院理学研究科教授・宇宙ユニット長)



参加無料・事前申し込みが必要です

参加申し込みはGoogle Formから

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSe56S5pOk44j_yDg2doaQFoh2R97Kf1jBGYfhNiGxj7DNZOfA/viewform?usp=sharing



SIC

有人宇宙学研究センター
Human Spaceology Center

主催：京都大学大学院総合生存学館

共催：SIC有人宇宙学研究センター・宇宙総合学研究ユニット

image credit by Virgin Galactic・Garvey McIntosh・稲波紀明

～講演者紹介～

1. Garvey McIntosh

東京のアメリカ大使館を拠点とするNASAアジア担当者。NASAの国際機関間関係局（OIIR）に入社して以来、スペースシャトルや国際宇宙ステーションに関する国際協力、高エネルギー物理学や天文学、インドとの月探査機「チャンドラヤーン1」の協力などをサポートしてきた。また、26人のメンバーで構成される国家国際航空研究フォーラム（IFAR）の結成と活動において大きな役割を果たした。NASAに入社する前、Garveyは著名なBoren Fellowとしてベトナムで経済政策と言語を研究し、日本の長崎で4年間、英語を教えていた。カリフォルニア州のモンレー国際問題研究所で大学院を、マサチューセッツ州のノースイースタン大学で学士号を取得している。



2. 稲波紀明

INAMI Space Laboratory代表取締役。日本IBM在職中、2005年にヴァージン・ギャラクティック社の宇宙旅行に申し込み、20万ドルを支払い、世界最初の宇宙旅行者100人に選ばれ、日本人で初めてサラリーマンで宇宙旅行者となった。間もなく開始される宇宙旅行で障がい者として世界で初めて宇宙に行く予定である。2022年INAMI Space Laboratoryを設立・代表取締役に就任し、宇宙進出を目指す人や企業をサポートしている。INAMI Space Laboratory設立前は、日本IBMでプロジェクトマネージャー・システムエンジニアとして製造業や金融業の大手顧客・システム開発のフルフェーズを担当した。その後、船井総合研究所では、様々な会社のコンサルティングに従事するだけでなく、宇宙ビジネスコンサルタントとして宇宙業界を立ち上げた。

